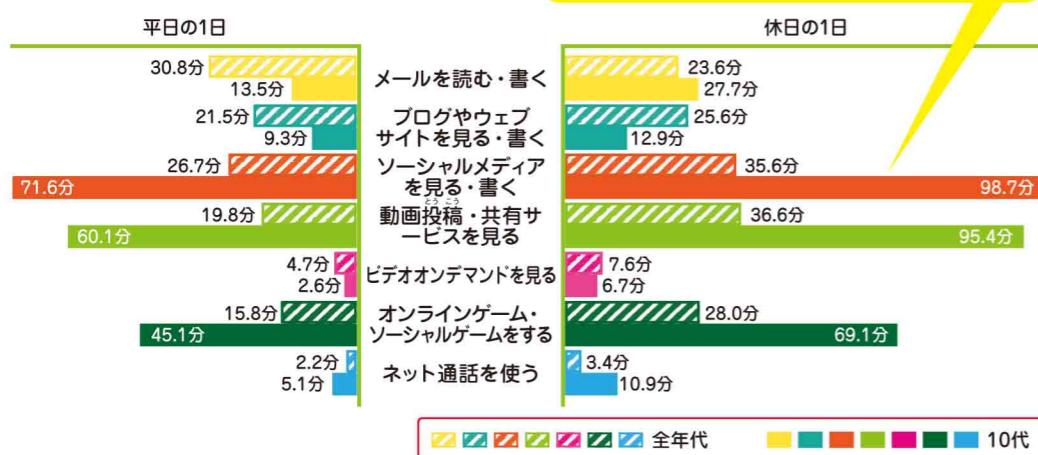


小中高生に人気の動画の傾向

▶ 小中高生はどのくらい動画を見ている？ 何が人気？

下のグラフは、総務省によるインターネットの利用時間とアプリの利用率についての調査結果です。10代が平日にネットを使う時間の平均は3時間24.3分、そのうち、多いのが「ソーシャルメディアを見る・書く」時間で1時間11.6分、続いて、「動画投稿・共有サービスを見る」時間が1時間0.1分です。休日になるとそれらの時間は増えて、「ソーシャルメディアを見る・書く」が1時間38.7分、「動画投稿・共有サービスを見る」が1時間35.4分見ているという結果でした。

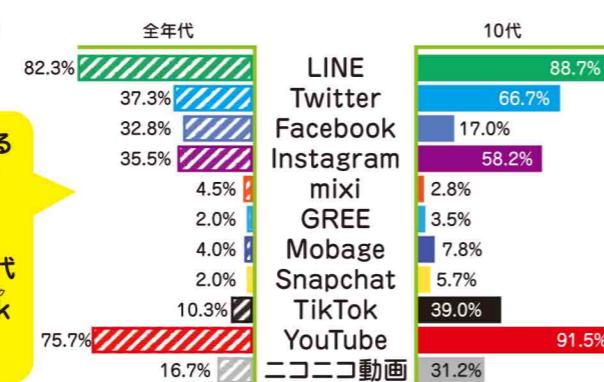
▶ インターネット項目別利用時間



全年代に比べて、10代は動画やSNSを見ている時間が長いことがわかりますね。

▶ おもなSNS系サービスやアプリの利用率

動画共有サイトや、動画が投稿できるSNSのうち、10代がよく使っているのは、YouTube、LINE、Twitter、Instagram、TikTok。LINEは全世代で多く使われていますが、Facebookは10代の利用率が低いですね。



「平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査(総務省)」より引用抜粋。

小中高生にはどんな動画が人気で、毎日どれくらい動画を見ているのか、その実態を紹介します。全体の平均と比べてどんな違いがあるでしょうか。

コラム

スマホ安全アドバイザー 鈴木朋子さんがアドバイス

YouTubeやInstagramが人気。理由は手軽さと内容のわかりやすさ



私が取材を通じて、小中高生がよく見ていると感じるのは、お笑い動画やミュージックビデオです。男子に人気が高いのが、ゲームを実況しながらプレイしている姿を投稿したゲーム実況。ここでゲームの攻略法を勉強しているのだそうです。中高生の女子に人気なのがメイク動画。ヘアアレンジやメイク法だけでなく、商品を使ったレビューなども丁寧に投稿されていて、わかりやすい点が魅力です。

グルメスポットを探す時、大人はグルメ情報サイトなどを検索することが多いですが、10代20代はYouTubeやInstagramの動画で探すことが多いといいます。注文したハンバーグを割るとチーズがトロリと出てきたとか、店内の雰囲気がいいなど、写真よりも伝わりやすいところが動画のメリットです。

ここ数年、中高生に流行っているのがInstagramのストーリーズです。写真や短時間の動画を数本まとめて投稿できる機能で、24時間で自動的に消去されるのが特徴。YouTubeのように、ほかの人があもしろいと思う動画を何分も作るのは大変ですが、ストーリーズならいくつかのデータが自動でつなげられて表示されるので簡単です。

誰もが毎日「インスタ映え」する写真が撮れるわけではありません。けれども、ストーリーズなら数秒で切り替わるので、素敵な動画や写真でなくても、自分の日常をちょっと誰かと共有したいという時に使うのに便利なのだと思います。見てるほうも、つまらないと感じたらタップすれば次の動画に飛ばすことができますし、大したことない内容でも1日たてば消える上にじっくりと見られないため、気軽に扱える点も若者に支持される理由。「じっくり」よりも「気軽に」SNSを使いたいという若者のニーズに、今マッチしているのがストーリーズなのでしょう。



動画投稿の魅力と NGなこと

YouTubeが世界中で人気となり、動画投稿を仕事としている人も誕生しました。それがユーチューバーです。小学生の「将来なりたい職業」の上位にランクイン※するようになったユーチューバーに、動画投稿のリアルな世界について聞きました。

※「学研教育総合研究所の小学生白書ウェブ版、2018年9月調査」より。

Q たくさん的人に自分で作った動画を見てもらうために、どんな工夫をしているの？

私は、お笑い芸人をしています。動画を撮影してYouTubeに投稿するほか、テレビに出たりラジオに出たりと、いろいろな活動をしています。YouTubeは、テレビCMのように、動画の前後や間に広告を流すことができます。動画の再生回数を増やし、たくさんの人が広告を見ることで、ユーチューバーはお金をもらうことができるのです。

また、YouTubeで投稿した動画がテレビや雑誌で話題になり、YouTubeがきっかけで歌手デビューをするアーティストも増えています。投稿して収入を得るだけでなく、YouTubeには、多様なチャンスが眠っているということですね。

自分が投稿した動画をたくさん的人に見てもらう方法として、基本的には投稿を毎日するといいといわれています。けれども私は、投稿数は少なくともいいと思っています。そのかわりに、私はお笑い芸人なので、頭の中で考えた楽しいことがそのまま動画となり、みんなに笑ってもらえるような動画が作りたいと思っています。見た人が「すごくおもしろい動画を見つけたよ！」と、誰かに話したくなるような動画を作ることが目標です。

私の武器は、ハイテンションで元気なところです。そのよさが伝わるように、撮影の時にはカラフルな衣装を着て、大きな声で話すようにしています。そして編集ではかわいい絵文字を使って、画面を目で見て楽しめる工夫をしています。

投稿をはじめた当初は、Instagramのフォロワー（新たな記事をアップすると自動で届く人。ファンのような存在）1000人に動画の告知をしましたが、だんだんファンが増え、半年で1万人、1年で15万人が私のYouTubeチャンネルの登録をしてくれるようになりました。



放送作家の仲間と一緒に撮影。

日本だけでなく海外へ取材に行くこともあります。

エヌジー NGなこと

Q 動画の企画や編集で苦労することや工夫をしていることはありますか？

ほかの動画を見ていると、「見せ方を変えれば、もっとおもしろいのに」と感じるものがたくさんあります。何か作品を作る時は、自分1人で考えるよりも、ほかの人からのアイデアを取り入れることで、自分の魅力を引き出してくれことがあります。

そこで私はより楽しい動画を作るために、テレビ番組などの台本を書く放送作家の友だちと、動画の企画を考えています。週数回会って一緒に食事をしながら、いろいろな話をしていると、「こんな動画を作ろう」「あそこに行ってみよう」とアイデアが浮かぶことが多いのです。なかなか企画が思い浮かばないこともありますが、「仕事」だと思うと楽しくなってしまうので、「仲のいい友だちと会っておしゃべりする」ような気持ちで企画を考えるようにしています。

あらかじめ、決まりごとを作って撮影するのが苦手なので、普段のハイテンションの姿のまま自由に撮って、編集の時に冷静な視点で見るようになっています。

動画の編集作業は、1人で、パソコンで行っています。家で閉じこもっているといやになってしまって、カフェに行って作業をしています。「今度は、あそこのおしゃれなカフェに行こう」と思うと、大変な編集作業もわくわくしながらできますね。

動画の編集は、日々自分で勉強しています。テレビのバラエティ番組を参考に、ナレーションやテロップ（画面上の文字）を入れて、見れる人がわかりやすくなるようにしています。

私は英語が得意なので、将来は英語で発信をして、世界中の人に見てもらいたいと思っています。今のおもしろさを、そのまま英語で伝えられるように、英語の勉強もがんばっているところです。

ユーチューバー フワちゃん

1993年、東京生まれ。大学在学中に芸人を育成するワタナベコメディスクールに入学、コンビを組んで芸人デビュー。解散後、ユーチューバーとして初投稿。現在はYouTubeだけでなく、テレビ、ラジオ、ウェブテレビなど、様々なメディアで活躍中。2020年2月現在、YouTube「フワちゃんTV」のチャンネル登録者数53.7万人、総再生回数45,014,862回。



3

10代を中心に 人気急上昇のTikTok

じょうしょう ティックトック



若い世代を中心に、現在人気となっているSNSがTikTokです。
どんなことができて、どんなところがおもしろいのか、**投稿の注意点**とともに紹介します。

コラム

スマホ安全アドバイザー 鈴木朋子さんがアドバイス



人気の動画投稿には何がある?

2018年から、テレビやYouTubeのCMなどでも目にするようになったTikTokは
短い動画用のSNSで、10代20代を中心に人気となっています。

TikTokでまず多くシェアされたのが、音楽にあわせて口パクをしたり、手足を動かしてダンス風に動いたりする動画です。こうした動画は用意されたBGMを選んで録画するだけで簡単に作成でき、ズームや早回しのほか、動画を美しく見せる効果もたくさん用意されています。スタイルをよくしたり美肌にしたりといった加工や、テキストやスタンプなどで画面をぎやかにする編集作業が簡単にできます。

以前なら、このような動画の加工は、専門のソフトと技術が必要でした。それがTikTokでは、細やかな動きにさえ、素早く加工が施されるよう、非常にすぐれたAI技術が使われているのです。人の肌も簡単に美しく調整できます。「誰でも、うまく美しく見せられる」。そして「手軽に投稿できるのに、多くの人が『いいね!』がもらえる」。それらが、人気を支えているのです。

また最近の10代は長い動画を見ることをめんどうに感じる傾向にあり、15秒の短い動画が次々に見られるTikTokのスピード感も、今の10代のカルチャーにうまくあつたといえるでしょう。

TikTokに投稿する時の注意点

TikTokは13歳以下の使用は利用規約で認められていないことを知っておきましょう。投稿した動画は、初期設定ではすべてのユーザーが見られるようになっています。知り合いだけに見せたい時には、設定画面のプライバシー設定から「非公開アカウント」にします。

また、知り合い以外のコメントをさけたい時は、設定画面で「自分にコメントを送ることができます」を「互いにフォローしている友達のみ」にします。不快なコメントを送ってくる相手や迷惑な相手をブロックすることも可能です。